

報道関係者各位
ニュースリリース

2007年10月3日
SBIホールディングス株式会社
SBIインテクストラ株式会社

SBIインテクストラ、ヴァン・パートナーズと協業で知財分析と LSI構造解析を融合させた技術分析レポートを発売

～ LSI関連企業の戦略的な技術開発を支援 ～

SBIホールディングス株式会社（東京都港区、代表取締役 CEO：北尾 吉孝）の子会社である SBI インテクストラ株式会社（東京都港区、代表取締役社長：大津山 秀樹、以下「SBI インテクストラ」）は、知財分析(*1)と LSI(*2)の回路・構造解析(*3)を融合させた技術分析レポートを業界に先駆けて発行、LSI 関連企業の戦略的な技術開発を支援します。

本レポートは、特定分野の LSI チップの回路構成やデバイス構造といった物理的解析と、同分野の関連特許情報の量的・質的分析を融合させたものであり、LSI 関連企業を対象に研究開発者が技術開発の方向性を定めたり新技術を開発したりする際の基礎情報として幅広く活用できます。知的財産マネジメントのコンサルティング経験を通じて培った知財(特許)分析で実績のある SBI インテクストラと、LSI 解析分野における業界大手のベンダーである株式会社ヴァン・パートナーズ(本社:東京都文京区、代表取締役社長 柳館 太郎、以下「ヴァン・パートナーズ」)の協業で実現しました。

【「知財分析と LSI 構造解析を融合させた技術分析レポート」の概要について】

・技術競争力に比して業績不振な国内メーカーを既存動向把握に関して支援

近年、LSI 関連企業の技術開発競争がますます激化するなか、研究開発部門では、自社の事業部門とのシナジーを考慮した戦略的な技術開発や、市場ニーズの変化に適応した柔軟かつ迅速な技術開発が重要になっています。その際、既存技術や競合企業の技術開発計画などを把握しておくことは必須要件と言えるでしょう。しかし、企業が独自に当該分野のすべての LSI チップを一から解析し、さらに出願済みの特許を網羅的に分析することは、費用と時間の両面から難しい状況でした。実際には、自社のリソースで可能な範囲の調査に留めざるを得ない場合が多く、その結果として技術開発戦略が競合他社の後追いになってしまい、独自もしくは競争力の高い技術成果を生み出せなかったり、開発した技術の特許出願しても先行技術に阻まれて登録まで行き着かなかったり、といったことが散見されています。この問題の解決こそが、技術競争力に比して業績が不振な多くの国内メーカーにとって最重要と、SBI インテクストラは考えています。

・業界ニーズと専門性を兼ね備えた LSI 解析&知財分析データを提供

今回のレポートは、これらの調査・分析で貴重な社内リソースが消耗することを避けながら、他社に対する差異化ポイントの構築や戦略的な技術開発といった研究開発部門本来の役割に注力できるよう、研究開発部門に必要な LSI 解析情報と知財(特許)分析情報をオールインワンの形でパッケージしました。さらに、「外部の企業が提供する情報には当社のニーズに合致するものがない」「外部機関の調査レポートはレベルが低い」といった既存レポートへの不満を解消するため、ヴァン・パートナーズの回路・構造解析能力と SBI インテクストラの知財分析能力を有機的に結合させ、技術動向を詳細かつ明確に浮かび上がらせていきます。分析テーマの選定に関しては、LSI 解析分野におけるベンダーとして多くの LSI 研究開発部門とのコンタクトを持つヴァン・パートナーズがニーズの高い技術分野の調査にあたります。

本レポートの第 1 号は、2007 年 11 月に発行、1 部当たり数十万円～3 百万円の価格になる予定です。その後は、独自に選定した技術分野をテーマとし 2 カ月ごとを目処に発行するものと、特定の LSI 関連企業の要望に合わせて発行するものの 2 種類のシリーズ化を検討しています。SBI インテクストラは、今後も企業の技術ストックである知財(特許)情報の活用に関するコンサルティング、技術競争力の分析を通じて、様々な産業分野の日本企業が戦略的な技術開発、事業強化を実現することに寄与してまいります。

以上

<ご参考>

■(*1)知財分析について —特許データを活用した技術競争力の分析—

研究開発部門において研究を進める中で、限られたリソースを使い競合他社が保有する技術を調査するには、膨大な量の関連特許の査読・調査、分析結果を情報共有する必要があり、費やす時間、費用ともに限界がありました。

このような研究開発部門の課題に対し、SBI インテクストラが開発した特許の重要度を数値化した独自の特許価値数値化指標 PCI(R)(※)は、製造業を中心とした約 50 社の大手企業で採り入れられ、競合企業の技術競争力を定量的に比較するための「ものさし」として活用されています。

本レポートに含まれる知財分析では、該当分野の LSI 関連技術を保有する企業の特許を洗い出し、PCI を利用することで、研究開発部門において戦略立案の意思決定や、詳細特許調査対象特許の絞込み等を資する次の分析情報を提供します。

- ◆ 競合企業の技術競争力の分析情報
- ◆ 競合企業の研究開発動向の分析情報
- ◆ 該当分野で PCI が高い特許に関する情報 など

※PCI (Patent Competency Index) とは、公開されている特許情報をもとに、権利としての強

さや、特許に対する注目度等の観点において特許を保有する企業の技術競争力を測るために、SBI インテクストラが独自に開発した指標であり、システム・ソリューション『StraVision(R)』（ストラビジョン）により算出されます。

■(*2) LSI について

LSI とは、Large Scale Integration の略で、大規模集積回路（素子数；1000 以上のもの）の呼称です。集積回路は、特定の機能で動作する電気回路をパッケージ化した半導体素子で、LSI はこれを更に大型化（多くの素子を集積）させたもので、コンピュータのメインメモリの中などで利用されています。

■(*3) LSI の回路・構造解析について

微細化・多層化が進む半導体・電子デバイス類においては、内部構造の物理的な解析を行うことは日に日に困難になっています。このため、自社が出願した特許が他社に侵害されている可能性があるケース、若しくはその逆のケース、またはそれらの周辺状況を踏まえた上での研究開発ロードマップを策定するケース等においては、高度な解析技術が必要となります。ヴァン・パートナーズでは、NTT グループで長年半導体・電子デバイスの解析実務を積んできた経験豊富な技術陣を擁し、以下のサービスを提供しています。また、ヴァン・パートナーズは、特定のメーカーとの資本関係を持たず、東京大学 VDEC とも提携し中立的な第三者機関としてのサービスを提供しています。

- ◆ パターンルール、配線層構成、各種膜厚、材料、加工形状などの調査
- ◆ 特定部分の回路構成調査
- ◆ 特定部分の回路動作や機能の調査
- ◆ 単体素子特性の調査
- ◆ メモリ種類や容量等の調査
- ◆ ブロック構成の概要調査
- ◆ 部品の構成調査

【SBI ホールディングスについて】

SBI ホールディングス株式会社（SBI Holdings, Inc.）

設立： 1999 年 7 月 8 日
所在地： 東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号
代表： 代表取締役 執行役員 CEO 北尾 吉孝
主要事業： 子会社にオンライン証券最大の顧客基盤を有する SBI イー・トレード証券（株）や、ベンチャーキャピタルの SBI インベストメント（株）など革新的な金融事業会社を有し、インターネット総合金融事業を展開
URL： <http://www.sbigroup.co.jp>

【SBI インテクストラについて】

SBI インテクストラ株式会社 (SBI Intechstra Co., Ltd.)

設立： 2000年12月1日

所在地： 東京都港区六本木一丁目6番1号

代表取締役社長：大津山 秀樹

主要事業： 企業の経営企画部門、研究開発部門、事業部門、知的財産部門が企業経営の意思決定に資する知的財産情報の活用に関わるコンサルティング、システム・ソリューション『StraVision(R)』、技術分析レポート等の情報提供サービス

URL： <http://www.intechstra.com>

【ヴァン・パートナーズについて】

株式会社ヴァン・パートナーズ (VAN Partners Corporation)

設立： 2004年6月1日

所在地： 東京都文京区根津1-4-6 SBビル8F

代表取締役社長：柳舘 太郎

主要事業： 半導体・電子デバイス類の評価・解析サービス
(故障解析、構造解析、セキュリティ解析)

主要株主： 三菱商事株式会社

URL： <http://www.van-partners.com>

<お問い合わせ先>

◇本ニュースリリースおよび知財分析に関するお問い合わせ

SBI インテクストラ

電話：03-6229-0780

Email： info@intechstra.com

◇LSIの回路・構造解析に関するお問い合わせ

ヴァン・パートナーズ (担当：知的財産技術部長 丹野)

電話：03-5815-4777

Email： vaninfo@van-partners.com

記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。